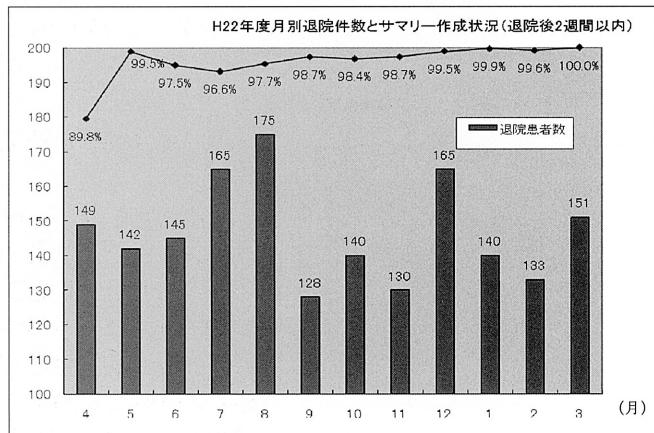


2010年度の診療情報管理室はスタッフ2名（専任1名・医事室長兼務1名）で業務を行った。2011年1月に医事室とのローテーションを行い専任職員が交替した。

1. サマリーシステムの変更

7月にサマリーの新システムが完成した。7月中旬からシステム担当者の協力で電子カルテ以降の退院サマリーを新システムへ移項した。

サマリー作成率は平均では98.0%となり前年度より1.3%下がっている。しかし最終月の3月には2週間以内作製率100%を達成できた。システムの変更は行ったが診療部の協力で高い作成率を維持できた。また、入院診療計画書の不備がみられたため、7月から診療情報管理室と病棟クラーク双方の確認で未作成や登録漏れを防ぐ対策を取った。その結果ほぼ全件作成とすることができた。



2. 退院患者疾病統計

2010年度は退院患者数が前年度に比べ約4%増加した。疾患の割合は、前年と変わらず消化器系の疾患が18.3%と一番多く、次に循環器系の疾患（脳血管系疾患を含む）が15.8%、三番目が損傷中毒およびその他の外因の影響で14.1%となつた。

全体の平均在院日数は前年度より短くなつておらず、有効的な病床利用を裏付けるデータとなつた。疾病的割合は、泌尿器疾患での入院が常勤医不在となつたため減少し、呼吸器疾患での入院が増加した。死亡率は9.9%であった。新生物での死亡率が24.6%と過去4年間で最も高い数値となつた。

3. 宇城市MRI脳検診と脳ドック

2005年度から宇市の委託を受けMRI脳検診を実施している。当院での受診者は過去6年間で3,050名となつた。今年度は宇市の受入枠が少なくなつたため受診者数が激減した。4月から開始した脳ドックは33件であった。

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	合計	脳ドック
1 異常なし	616	724	565	165	128	40	2,238	16
2 異常所見軽度	178	249	137	29	61	7	661	7
3 要経過観察	1	8	2	5	9	3	28	3
4 要再検	3	3	2	5	3	2	18	1
5 要精検	11	5	18	11	16	10	71	3
6 要治療	1	6	9	0	1	0	17	2
7 脳外科受診	3	1	4	3	1	5	17	1
合計	813	996	737	218	219	67	3,050	33

4. 宇城市乳がん検診

2010年度も前年に引き続き乳がん検診の委託を宇城市から受け実施した。触診とマンモグラフィー2項目での乳がん検診で、9月から翌年2月まで計33名の受診があつた。

5. カルテ開示

2010年9月に厚労省からカルテ開示について変更の通知が出された。変更は以下の2点であった。

- ①開示の申請書等に理由欄を設けて申請の理由を尋ねることは不適切である。
- ②開示の費用は合理的と認められる範囲内としなければならない。

当院では2点とも問題なかつたので現行どおりとした。

2011年1月に当院で2回目の診療記録開示を行つた。

6. がん登録

熊本県から2007年と2008年に当院を死亡退院した患者48件（死亡届に悪性新生物の病名があつた患者）、また、2010年に死亡した患者7件についてのがん登録の依頼があり、医局と協力して登録を行つた。